

# 令和7年度 介護DX先進モデル施設育成事業 モデル施設募集について

介護職場サポートセンターひろしま

## 1 目的

広島県内の介護事業所において、AIやIoT、ICTなどのデジタル技術を取り入れ、介護業務のワークフローを変革することにより、介護業務の生産性向上を目指す施設を「介護DX先進モデル施設」としてその取り組みを支援します。

モデル施設での取り組みの効果検証で得られた知見を参考として県内の介護保険事業所に介護DXの取り組みを普及促進させることを目的としています。

## 2 モデル施設の募集数

介護保険施設 1施設

※介護保険施設：特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・介護医療院

※但し、同一法人が運営する同一敷地内、又は隣接する施設・事業所においてあわせて取り組みを行うことで効果が認められる場合は事前協議の上、範囲を決定します。

## 3 モデル施設の必須要件

- ① 経営者（管理者）と職員間で取り組みを行うことについての合意形成が取れている
  - ② 専任のプロジェクトリーダーを選出することができる
  - ③ インカム・見守り機器・記録ソフト（3種の神器）を導入し、1年以上が経過している
  - ④ 生産性向上推進体制加算のⅠ又はⅡを取得している
  - ⑤ モデル事業実施後に、導入効果を報告（計測データ提供）のほか、広島県の介護DX推進役として、各種セミナーへの出席及び施設見学（視察）を年間10回以上受け入れることができる
- ※申込多数の場合は申請内容を審査の上、決定とします。

## 4 モデル事業実施に係る伴走支援期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

### スケジュール（予定）

時期	内容	備考
R7年 2月	モデル施設の募集	2/26 生産性向上普及促進セミナーにおいて募集 （※介サポひろしまHPの動画視聴でも募集）
3月	モデル施設の決定	3月9日（日）募集締め切り 3月末までに申込のあった施設へ通知
4月～6月	推進モデル施設において 事業開始	・機器等導入前のコンサルティング実施 ・事前業務調査（業務処理時間のタイムスタディ） ・導入すべき機器等の選定・決定 ・機器等の導入とそれに伴う助言
8月～11月	効果測定・検証	機器等導入による業務処理の効果測定と分析及びモデル施設へのフィードバック
12月	成果とりまとめ	事業成果をとりまとめ、取り組みモデルを構築
3月～	広島県内での事業展開	他事業所からの視察受け入れ等

## 5 費用について

伴走支援に要する経費（コンサルタントへの謝礼金や旅費等）は無料となります。

AIやIoT、ICTなどのデジタル技術機器、介護技術者の身体的・精神的負担の軽減、業務効率化に資する介護ロボット等、各種機器類の購入経費等について助成（上限額1,400万円（予定））を行います。

- ※1）対象となる機器類等については、介護テクノロジー定着支援事業の対象物品を原則とします。
- ※2）上記の上限額で不足が生じる場合、令和7年度介護テクノロジー定着支援事業との併用を認めます。（一部負担が生じます。）

## 6 伴走支援実施機関等について

介護事業所のDX化促進の助言業務の実績のあるコンサルタントを想定

## 7 その他

- ① 申込多数の場合は申請内容を審査のうえ決定します。
- ② 審査の際に選考ヒアリング（オンラインを予定）を行います。（3月中旬以降を予定）
- ③ 審査結果については、遅くとも令和7年3月末までにお知らせします。

### 問い合わせ先

介護職場サポートセンターひろしま

（社福）広島県社会福祉協議会／福祉人材課

〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2

TEL: 082-207-2423 FAX:082-256-2228